

第2回 船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会

一 次 第 一

日時:令和2年8月24日(月)

午前10時00分から

場所:金杉台中学校 3階 視聴覚室

1. 検討事項

(1)進学先に関するアンケートの集計結果について

資料1

(2)統合までの間の入学等対応策について

資料2

(3)各学校、学校間での検討状況について

2. その他

『進学先に関するアンケート』集計結果報告

管理部教育総務課

目次

1. 調査の目的	2
2. 調査方法	2
(1) 調査対象	2
(2) 対象者の抽出方法	2
(3) 調査方法	2
(4) 調査期間	2
3. 集計にあたって	3
4. アンケート回収結果	3
5. 集計概要	4
(1) 「統合までの間の入学等対応策案」に関する集計概要	5
(2) 進学先の中学校に関する全体の集計概要	6
(3) 進学先の中学校に関する学年別・男女別の集計概要	7
(4) 進学先の中学校に関する金杉台小学校の集計概要	8
6. 集計結果	9
7. 自由記述	16
(1) Q2. 「良くないと思う理由等」の自由記述	16
(2) Q4. 選択肢「5 その他」の自由記述	19
(3) Q5. 選択肢「6 その他」の自由記述	20
(4) Q6. 選択肢「4 希望する中学校名、その理由」の自由記述	21
(5) Q6. 選択肢「5 その他」の自由記述	22
(6) Q7. 統合や統合に伴う転校についての自由記述	24
【参考】アンケート様式	28
(1) ご案内	28
(2) 質問・回答用紙	32

『進学先に関するアンケート』集計結果報告

1. 調査の目的

令和3・4年度に中学校入学を迎える現小学校5年生・6年生の保護者を対象に、「統合までの間の入学等対応策案」への意見と現時点での進学先や統合への不安等を把握し、入学等対応策の決定に向けた検討資料とする。

2. 調査方法

(1)調査対象

金杉台中学校の指定学区及び選択地域の小学生5・6年生の保護者を対象とした。

- ①金杉台小学校に在籍する5・6年生の保護者
- ②周辺小学校のうち金杉台中学校を選択できる地域に居住する5・6年生の保護者

(2)対象者の抽出方法

学務課の学齢簿システムを使い抽出（令和2年6月24日現在）

(3)調査方法

各学校を通じて配付・回収

(4)調査期間

令和2年7月17日（金）～7月30日（木）

3. 集計にあたって

- 兄弟姉妹など 1 世帯に対象となる小学校 5・6 年生の児童が複数いる場合、それぞれに用紙を配付した。
- 設問に対する回答数 (N) は別途記載した。
- 回答の比率 (%) は、原則としてその設問の回答数 (N) を基数として算出し、小数点第 1 位を四捨五入した。このため、数値の合計が 100%にならない場合がある。

4. アンケート回収結果

- 対象者 338 人に対し、292 人から回答があり、回答率は 86%であった。
- 学校別の対象者数及びアンケートの回答数、回答率は次表のとおり。

総計	対象者数 X	回答数 N	回答率 N/X
		338	292
金杉台小学校	108	93	86%
高根小学校	27	23	85%
金杉小学校	61	51	84%
三咲小学校	7	5	71%
二和小学校	107	97	91%
法典東小学校	28	23	82%

- 学年別の対象者数及びアンケートの回答数、回答率は次表のとおり。

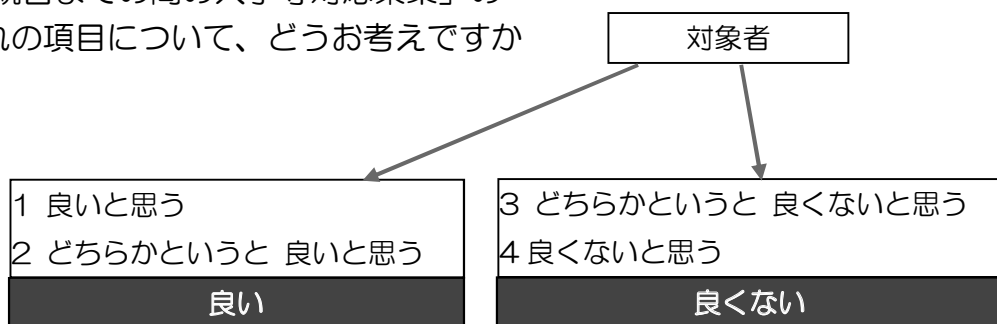
総計	対象者数 X	回答数 N	回答率 N/X
		338	292
5年生	172	151	88%
6年生	166	141	85%
(未回答)	—	0	—

5. 集計概要

- アンケートの集計結果は「6. 集計結果」にまとめ、設問の有効回答数に対し、回答の比率を算出している。しかし、今回のアンケートの設問において、「統合までの間の入学等対応策案」への賛否を整理するとともに、進学先の中学校に関する全体の集計に加え学年別等の分析が重要となるためクロス集計を行い集計概要とした。

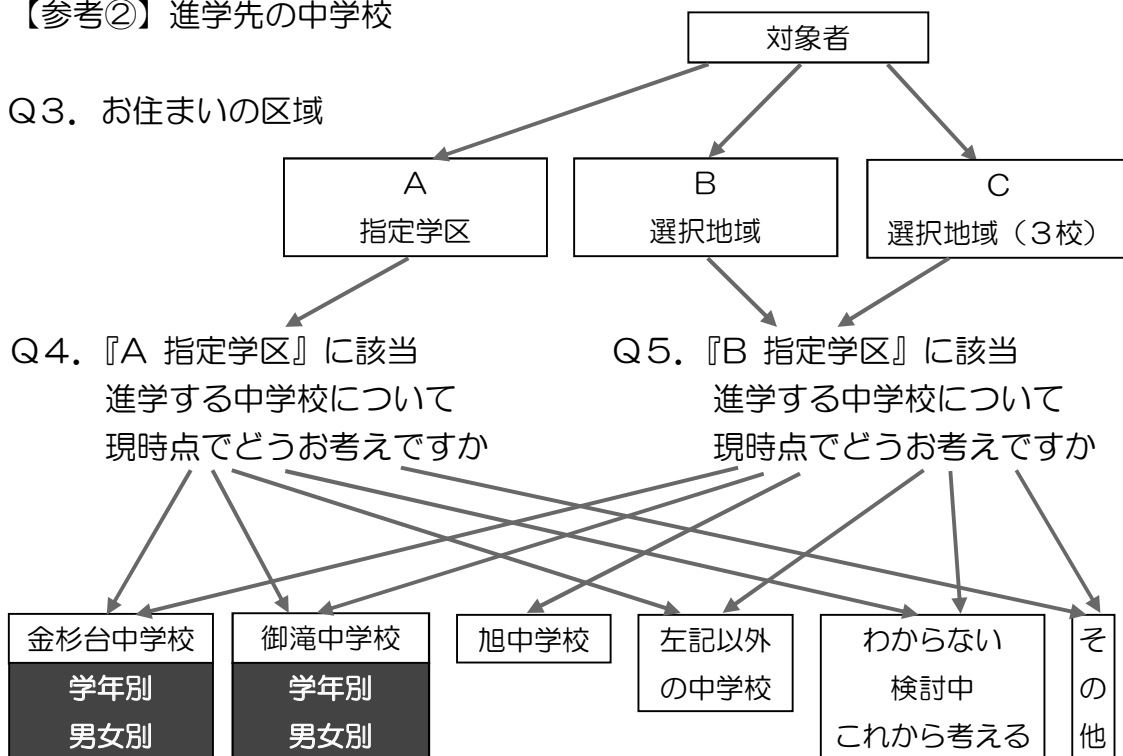
【参考①】「統合までの間の入学等対応策案」

Q2. 「統合までの間の入学等対応策案」のそれぞれの項目について、どうお考えですか



【参考②】進学先の中学校

Q3. お住まいの区域



(1) 「統合までの間の入学等対応策案」に関する集計概要

- ・「統合までの間の入学等対応策案」に関する設問 Q2. の回答について、「1 良いと思う」と「2 どちらかという 良いと思う」を「良い」、「3 どちらかという 良くないと思う」と「4 良くないと思う」を「良くない」に合算した集計概要は以下のとおり。

		(N= 292)			
		良い	良くない	(未回答)	回答数
1 入学する中学校について		266	21	5	292
	%	91%	7%	2%	100%
2 制服・学用品等について		268	20	4	292
	%	92%	7%	1%	100%
3 統合に向けた生徒の交流について		269	19	4	292
	%	92%	7%	1%	100%

- ・いずれの項目も回答率は、「良い」が90%以上となった。

【参考】金杉台小学校の「統合までの間の入学等対応策案」に関する集計概要

		(N= 93)			
		良い	良くない	(未回答)	回答数
1 入学する中学校について		75	16	2	93
	%	81%	17%	2%	100%
2 制服・学用品等について		78	14	1	93
	%	84%	15%	1%	100%
3 統合に向けた生徒の交流について		79	13	1	93
	%	85%	14%	1%	100%

- ・金杉台小学校の回答のみでクロス集計すると、「良くない」の割合が増えるが、いずれの項目も回答率は、「良い」が80%以上となった。

(2)進学先の中学校に関する全体の集計概要

- 進学先の中学校に関する設問 Q4. と設問 Q5. の回答について合算した集計概要は以下のとおり。

(N= 292)

		回答数	%
1	金杉台中学校に進学したい (令和5年4月の統合時に御滝中学校に転校)	9	3%
2	御滝中学校に進学したい	224	77%
3	旭中学校に進学したい ※『C 選択地域(3校)』の方のみ	14	5%
4	金杉台中学校・御滝中学校・旭中学校以外の中学校へ 進学したい(市内の中学校や私立中学校など)	14	5%
5	わからない、検討中、これから考える	24	8%
6	その他 ※自由記述	4	1%
7	(未回答)	3	1%

- お住まいの区域別(指定学区・選択地域別)の回答は、「6. 集計結果」に掲載。
- 「金杉台中学校」の回答数は、5・6年生の2学年で、9(3%)となった。学年別の回答については、次項に掲載。
- 「わからない、検討中、これから考える」の回答数が24(8%)となった。

(3)進学先の中学校に関する学年別・男女別の集計概要

- ・設問Q1.の学年別・男女別に、進学先の中学校に関する設問Q4.と設問Q5.の回答について合算した集計概要は以下のとおり。

(N= 292)

進学先	5年生		6年生		学年・性別 未回答	計	%
	男	女	男	女			
金杉台中学校	5	2	1	1	0	9	3%
御滝中学校	64	48	50	62	0	224	77%
旭中学校	2	4	3	5	0	14	5%
上記以外の中学校 (市内中学校や私立中学校など)	5	2	3	4	0	14	5%
わからない、検討中、 これから考える	11	3	6	4	0	24	8%
その他	0	2	1	1	0	4	1%
(未回答)	0	3	0	0	0	3	1%
計	87	64	64	77	0	292	100%

- ・「金杉台中学校」の回答数は、6年生が男女1人ずつ、5年生が男5人、女2人となった。
- ・「わからない、検討中、これから考える」の回答数は、6年生が男6人、女4人、5年生が男11人、女3人となった。

(4)進学先の中学校に関する金杉台小学校の集計概要

- ・設問Q1. で金杉台小学校が在籍校の回答者の進学先の中学校に関する設問Q4. と設問Q5. の回答について合算した集計概要は以下のとおり。

(N= 93)

進学先	5年生		6年生		学年・性別 未回答	計	%
	男	女	男	女			
金杉台中学校	5	2	1	1	0	9	10%
御滝中学校	12	17	9	25	0	63	68%
上記以外の中学校 (市内中学校や私立中学校など)	3	0	0	2	0	5	5%
わからない、検討中、 これから考える	8	1	2	2	0	13	14%
その他	0	0	1	1	0	2	2%
(未回答)	0	1	0	0	0	1	1%
計	28	21	13	31	0	93	100%

- ・(2)、(3)の「金杉台中学校」の回答数9は、全て金杉台小学校の回答であった。
- ・「わからない、検討中、これから考える」の回答数は、6年生が男女2人ずつ、5年生が男8人、女1人となった。
- ・なお、金杉台小学校のアンケート対象者108人のうち93人から回答があったが、提出のなかった15人(6年生10人、5年生5人)の進学先について把握ができなかった。

6. 集計結果

Q1. お子様の現在の在籍校、学年、性別について該当するものに○を付けてください。

(N= 292)

		回答数	%
在籍校	金杉台小学校	93	32%
	高根小学校	23	8%
	金杉小学校	51	17%
	三咲小学校	5	2%
	二和小学校	97	33%
	法典東小学校	23	8%
	(未回答)	0	0%

(N= 292)

		回答数	%
学年	5年生	151	52%
	6年生	141	48%
	(未回答)	0	0%

(N= 292)

		回答数	%
性別	男	151	52%
	女	141	48%
	(未回答)	0	0%

Q2. ご案内 2 ページの「統合までの間の入学等対応策案」のそれぞれの項目について、どうお考えですか。お考えに当てはまるもの又は近いものの該当する番号に○を一つだけつけてください。また、良くないと思う理由等を記入してください。

※「統合までの間の入学等対応策案」については『ご案内』2 ページ参照

(N= 292)

		回答数	%
1 入学する中学校 について	1 良いと思う	163	56%
	2 どちらかという 良いと思う	103	35%
	3 どちらかという 良くないと思う	7	2%
	4 良くないと思う	14	5%
	(未回答)	5	2%

(N= 292)

		回答数	%
2 制服・学用品 等について	1 良いと思う	166	57%
	2 どちらかという 良いと思う	102	35%
	3 どちらかという 良くないと思う	12	4%
	4 良くないと思う	8	3%
	(未回答)	4	1%

(N= 292)

		回答数	%
3 統合に向けた 生徒の交流について	1 良いと思う	172	59%
	2 どちらかという 良いと思う	97	33%
	3 どちらかという 良くないと思う	13	4%
	4 良くないと思う	6	2%
	(未回答)	4	1%

※「良くないと思う、どちらかという 良くないと思う理由」自由記述 36 件は、「7. 自由記述(1)」に掲載しています。

Q3. 別紙ご案内 4 ページの【住所一覧表】をご覧ください、お住いの住所の区域（A～C）の該当するものに○をつけてください

※「住所一覧表」については『ご案内』4 ページ参照

(N= 292)

		回答数	%
区域	A 指定学区	29	10%
	B 選択地域	204	70%
	C 選択地域（3校）	25	9%
	（未回答）	34	12%

⇒A 指定学区の方は、Q4へお進みください

⇒B 選択地域、C 選択地域（3校）の方は、Q5へお進みください

※本設問は未回答（○の付け忘れ）であっても、以降の設問 Q4 または設問 Q5 に回答があったものは有効な回答数としてみなした。

Q4. 『A 指定学区』に該当する方にお聞きします。

進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

(N= 34)

		回答数	%
1	金杉台中学校に進学したい (令和5年4月の統合時に御滝中学校に転校)	4	12%
2	御滝中学校に進学したい(通学指定校変更を申請する)	19	56%
3	金杉台中学校・御滝中学校以外の中学校へ進学したい (市内の中学校や私立中学校など)	1	3%
4	わからない、検討中、これから考える	6	18%
5	その他 ※自由記述	3	9%
6	(未回答)	1	3%

⇒Q6へお進みください

※「5 その他」の回答数3のうち、自由記述3件は、「7. 自由記述(2)」に掲載しています。

Q5. 『B 選択地域』または『C 選択地域（3校）』に該当する方にお聞きします。

進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

(N= 258)

		回答数	%
1	金杉台中学校に進学したい (令和5年4月の統合時に御滝中学校に転校)	5	2%
2	御滝中学校に進学したい	205	79%
3	旭中学校に進学したい ※『C 選択地域（3校）』の方のみ	14	5%
4	金杉台中学校・御滝中学校・旭中学校以外の中学校へ 進学したい（市内の中学校や私立中学校など）	13	5%
5	わからない、検討中、これから考える	18	7%
6	その他 ※自由記述	1	0%
7	(未回答)	2	1%

※「6 その他」の回答数1のうち、自由記述1件は、「7. 自由記述(3)」に掲載しています。

Q6. Q4 または Q5 で回答いただいた、現時点でのお考えの理由をお聞かせください。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

また、以下の4・5に○をした場合は、理由等を記入してください。

(N= 292)

		回答数	%
1	統合にかかわらず、以前から希望していた中学校に進学するため	206	71%
2	統合時に転校したくないため	38	13%
3	統合に不安があり、進学する中学校を決めかねているため	9	3%
4	金杉台中学校・御滝中学校・旭中学校以外の市内の中学校を希望しているため ※希望する中学校名、その理由	6	2%
5	その他 ※自由記述	19	7%
6	(未回答)	14	5%

※「4 金杉台中学校・御滝中学校・旭中学校以外の市内の中学校を希望」の回答数6のうち、「希望する中学校名、その理由」の自由記述5件は、「7. 自由記述(4)」に掲載しています。

※「5 その他」の回答数19のうち、自由記述19件は、「7. 自由記述(5)」に掲載しています。

Q7. 統合や統合にともなう転校に対して、心配な点や不安なことなどありましたらお聞かせください。

なお、こちらに記入いただいたご意見等について、個人が特定されない範囲で公表してもよい場合は、□に✓を記入ください。

(N= 51)

※うち、個人が特定されない範囲で公表に同意のあった自由記述は23件。

※公表に同意のあった自由記述23件は、回答欄外などに記載のあった自由記述2件も含め、併せて25件の自由記述を「7. 自由記述(6)」に掲載しています。

ご協力ありがとうございました。

集計結果は、今後の地域説明会等でお知らせいたします。

7. 自由記述

自由記述については、個人情報やデリケートな内容、調査の目的に直接関係のないと判断される内容を除き、一定程度類型化した形で公表することとしている。このため、一部、配慮を要すると考えられる記載内容については、修正した。また、自由記述の主旨を把握するため、進学先についての回答内容を文末に併記した。

(1) Q2. 「良くないと思う理由等」の自由記述

Q2. ご案内 2 ページの「統合までの間の入学等対応策案」のそれぞれの項目について、どうお考えですか。お考えに当てはまるもの又は近いものの該当する番号に○を一つだけつけてください。また、良くないと思う理由等を記入してください。

「生徒の交流」には賛成だが、「統合に向けた生徒の交流」には反対。統廃合を進める理由として教育委員会は部活動の規模なども根拠として挙げていた。保護者からは両校で交流を図ることで改善が可能と指摘していたが、教育委員会は無視し続けた。金杉台中学校の廃校が決まったとたんに交流を持ち出すなら、なぜ態度が変わったかについてのきちんとした説明が必要。また「調整を開始」「活用などを検討」となっていて、具体的な原案すら提示されていない。どのようなものになるかまったく見当もつかない状態で賛成することは白紙委任と同じになるので、反対せざるをえない。このように完成度の低い状態で賛否を取ること自体が理解に苦しむ。日程ありきで進めているようにしか思えない。(金杉台中学校希望)

金杉台中学校の生徒が御滝中学校に比べて少ないので、いじめなどが起こってしまうのではないかと不安です。(金杉台中学校希望)

制服については、ある程度入学者（金杉台中学校の）がすり合わせできるようにすべきと思った。入学時から御滝中学校の制服で統一が良いのでは。(金杉台中学校希望)

希望者は最初から御滝中学校に行けても良いのではないのでしょうか。(進学先未定・検討中)

入学したからにはせめて卒業させてほしかった。3年から転校とは本末転倒。何が子供のための統合か、という感じ。3年から転校なんて子供に全て負担あり。それじゃ初めから御滝中学校に行かせるしかない。選択あるようでないのと同じ。結局、教育委員会の都合の統合で、子供のためでもなんでもない。(進学先未定・検討中)

人数が一気に増えるので不安。あまり良い話を聞かない。(進学先未定・検討中)
制服以外(カバンやシューズなど)はどうなるのか。(進学先未定・検討中)
この頃生徒の間でのカーストがあるのがこわい。(御滝中学校希望)
まとまりがないと思う。(御滝中学校希望)
学校行事は一緒にしてほしい。(御滝中学校希望)
慣れるのに時間がかかってしまい、勉強に集中できなくなる気がする。制服が違っていると浮いてしまう気がする。(御滝中学校希望)
金杉台中学校→御滝中学校になる人は初めから御滝中学校の制服にするべき。(御滝中学校希望)
結果的に御滝中学校に転入しなくてはいけなくなる学年は、初年度から御滝中学校に通学させるべきだと思うから。(御滝中学校希望)
交流を行うために教育課程や学校行事を調整するのは大変なことだと思う。(御滝中学校希望)
行事を一緒にするのはどうかと思う。(御滝中学校希望)
今、きょうだい御滝中学校に通っているけど、金杉台中学校からいきなり御滝中学校に来て受け入れられないよねって言っている子がいると聞いた。色々と難しい時期の中学校生活での転校はさせたくない。(御滝中学校希望)
今更その意見を聞いて、何か反映されるんでしょうか。ムダな作業です。(御滝中学校希望)
今年の卒業生から金杉台中学校への受け入れをなくしたほうがいいと思う。(御滝中学校希望)
制服は女子生徒だけのことになりますが、金杉台中学校に入学する児童にどちらでも着用可はあいまいな選択に思える。御滝中学校で統一するか、金杉台中学校を配慮して金杉台中学校の制服に切り替えるか…。どちらにせよ統一が望ましいように感じます。(御滝中学校希望)
選択できることにしたほうがよいのでは。(御滝中学校希望)
中学3年の大事な時季に全く違う環境に変わるのならば、一年生から御滝中学校に行かせたほうがいい。(御滝中学校希望)
通常では良いと思うが、コロナウイルスが拡大している現在はやれないと思う。(御滝中学校希望)
転校は負担だと思うので。(御滝中学校希望)
途中から統合するのは生徒たちにとってよくないと思います。(御滝中学校希望)
統合が確実なら、制服を新しく変更しても良いと思います。少人数、制服が違っていると写真や修学旅行など…。来年、コロナが続いていたら出来ないような気がします。出来ない時の対策がないような…。(御滝中学校希望)

<p>統合することが決定しているのに何故、まだ選択させるのか、分からない。(御滝中学校希望)</p>
<p>統合時に転校という措置をとるのではなく、最後まで金杉台中学校の生徒として卒業させてあげたかったと思います。(御滝中学校希望)</p>
<p>入学時に御滝中学校 2・3 年生に兄・姉が在籍しているなら、下の弟妹も同じ中学に入学するのが普通だと思いますが…。部活動を理由に指定校変更ができるなら、該当条件なんてわざわざ設定する必要はないと思います。(部活動の理由はかなり個人的な要望、希望だと思うので。)(御滝中学校希望)</p>
<p>無くなる学校には、行かせません。(御滝中学校希望)</p>
<p>令和 5 年 4 月の転校がかわいそう。(御滝中学校希望)</p>
<p>③の理由で A 学区に住んでいても御滝中学校を選択できるなら、通学指定校変更手続きの申請は省くべき。手続きで市役所や中学校へ行くこともコロナ対策としてもよくないと思う。オンライン申請など、対応がされているなら別だが。(御滝中学校希望)</p>
<p>子供たちの気持ちを聞いていますか？人数が多い方が圧倒的な力を持つのが世の常です。きちんとしたフォロー体制をお願いしたい。(3校以外の中学校希望)</p>
<p>全て大人の勝手、都合(3校以外の中学校希望)</p>
<p>学用品等、令和 3 年 4 月以降両学校間で調整とあるが、現 6 年生は入学後となるのでそれでは遅いと思う。(その他の中学校希望)</p>
<p>受け入れるなら、その学校で卒業させてあげたい。(その他の中学校希望)</p>
<p>小学生でできていたスカーフ(5年生から)を着れる中学生じゃなきゃだめ。くつした、長袖などじゃないとだめ。(進学先未回答)</p>

(2) Q4. 選択肢「5 その他」の自由記述

Q4. 『A 指定学区』に該当する方にお聞きします。

進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

選択肢「5 その他（ ）」

引っ越し予定のため、県外の中学校予定(その他の中学校希望)
引越す予定(その他の中学校希望)
入学する選択肢を作るのならば、子供の気持ちを考えて卒業まで保証してほしい。 (その他の中学校希望)

(3) Q5. 選択肢「6 その他」の自由記述

Q5. 『B 選択地域』または『C 選択地域 (3校)』に該当する方にお聞きします。

進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

選択肢「6 その他 ()」

旭中学校または金杉台中学校・御滝中学校以外の中学校へ進学したい(その他の中学校希望)

(4) Q6. 選択肢「4 希望する中学校名、その理由」の自由記述

Q6. Q4 または Q5 で回答いただいた、現時点でのお考えの理由をお聞かせください。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

また、以下の4・5に○をした場合は、理由等を記入してください。

選択肢「4 希望する中学校名、その理由 ()」

(高根中学校) きょうだいが入籍しているため(3校以外の中学校希望)
(高根中学校) 御滝中学校には入れたくない。旭中学校は遠い。(3校以外の中学校希望)
(高根中学校) 自宅から通える範囲 統合時のゴタゴタが中3時の為 落ち着いた環境の中で受験学年を迎えさせたい。(3校以外の中学校希望)
(希望する中学校未回答) これから大学進学などに必要な英検など受験を積極的に行っていないため。(他の中学校に比べ、勉学に対して積極性が見られない) 休職している先生が多数いらっしゃるとう聞きしております。(3校以外の中学校希望)
(希望する中学校未回答) バasketボール部に所属しており、中学校へ進学してもBasketボールを続けたい希望が本人にある。その際、Basketボール部が強い学校を選択し、進学するという選択肢があっても良いと考えます。(進学先未定・検討中)

(5) Q6. 選択肢「5 その他」の自由記述

Q6. Q4 または Q5 で回答いただいた、現時点でのお考えの理由をお聞かせください。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

また、以下の4・5に○をした場合は、理由等を記入してください。

選択肢「5 その他 ()」

小規模校の利点は今までの説明会でも訴えてきたが、小規模校の方が利点が多いという考え方に変わりはなく、その利点は学年が低いほど有用と考えるため、短い年数であっても小規模校に通わせたい。統廃合による転校時には、保育園・小学校での同級生も多数いるので、特に不安はない。

それに加えて、新型コロナウイルスの問題がある。予想される教育委員会の主張は、「ガイドラインの遵守を徹底する」、問題が起こったときの言い訳は、「ガイドラインを遵守したが防げなかった」で、おそらく医学的なガイドラインというものを理解していないものになるだろう。医学的なガイドラインは絶対的なものではなく、頻りに改訂される。問題点を改め、不足する点を補強して行くことでより良いものになってゆくが、後で初期の版を振り返ってみると、とてもひどいものだったということもしばしばある。それでも共通のルールに従ってやってみなければ問題点・改善すべきところも見えてこないの、「とりあえず」制定されるのがガイドラインの第1版だから、その信頼度は一般的に低い。ましてや『新型』ウイルスに関するものなので、ガイドラインの信頼度は極めて低い。本当に必要なことが漏れていたり、意味のない単に無駄な労力を要するだけのものが含まれている可能性が高い。そのガイドラインを遵守することで万全とするなら、あまりにお目出たい考えとしか言えないし、失敗したときの言い逃れにも使えない。ガイドラインが当てにならないこともあり、感染リスクを下げたり流行を小さく抑えたりしやすい小規模校を選ぶのは、子供も安全のために当然の選択と考える。ヨーロッパではソーシャルディスタンスを最も重要な対策としている国もあり、少なくともワクチンが開発されて十分普及するまでは、生徒たちの密集を避けるため、廃校を延期して人数を分散するべきと考える。(金杉台中学校希望)

少人数ならでの指導を受けたいため。先生の目が届くから。(金杉台中学校希望)

まだ未定(進学先未定・検討中)

引越す予定のため(進学先未定・検討中)

検討中(進学先未定・検討中)

御滝中学校と旭中学校を検討中(進学先未定・検討中)

統合時に転校したくないため、統合に不安があり、進学する中学校を決めかねているため(進学先未定・検討中)
特色（通学路、部活等）がよくわからずまだ検討していない(進学先未定・検討中)
きょうだいがすでに御滝中学校在学中であるため(御滝中学校希望)
きょうだいがすでに通っているため親も慣れている。仕事をしているため子供（きょうだい）の環境はなるべく変えたくない。(御滝中学校希望)
きょうだいが既に御滝中学校に通っているため(御滝中学校希望)
家から近いため(御滝中学校希望)
家から近いため(御滝中学校希望)
家から近いので(御滝中学校希望)
子供のやりたい部活動がないため(御滝中学校希望)
少人数の金杉台中学校では活動、人間関係が不安なため以前から決めていました。(御滝中学校希望)
少人数の金杉台中学校にメリットを感じない。(御滝中学校希望)
金杉台中学校への進学を受け入れるのであれば卒業まで保証するべきと思う。入学を希望する子供の気持ちに全く寄り添っていない。(その他の中学校希望)
5年につけたスカーフをつけれる中学生じゃないとだめ(進学先未回答)

(6) Q7. 統合や統合に伴う転校についての自由記述

Q7. 統合や統合にともなう転校に対して、心配な点や不安なことなどありましたらお聞かせください。

なお、こちらに記入いただいたご意見等について、個人が特定されない範囲で公表してもよい場合は、□に✓を記入ください。

※回答欄枠内の「□以下の記入事項を、個人が特定されない範囲で公表してもよい」に✓のなかった自由記述は掲載していない。公表に同意のあった自由記述と、回答欄外に記載のあった自由記述を掲載した。

①制服について、入学する人数が少ないのだからお互いに探り合いが面倒。新入学生から御滝中学校の制服で統一が良いのでは。きょうだいの制服も使えないのだから。入学時から制服バンクなどを紹介すれば良いのではないか。

②交流事業について、交流事業自体は良いものだと思うが、これは統合までに向けた事業。子供たちは統合後から苦労するのだから、統合後にどうフォローアップするか見えないと不安は解消されないのでは。一案として、金杉台中学校の先生が子供たちと一緒に数名異動し、(最低2名、学年分。統合なのだから問題ないと思われる)月一回程度、元のクラスで集まって交流する時間を設けてはどうだろうか。

③成績の取り扱い及び試験について、なぜこんな大切な話が上がってこないのか疑問。金杉台中学校と御滝中学校で人数も試験内容も全く違うのに、成績の取り扱いを一緒くたにはしないでいただきたいが、内申の取り扱いはどうするのか。また統合後の試験も御滝有利とならぬため、明確な配慮が必要。(金杉台中学校希望)

3年間を通して金杉台中学校で学びたい。(金杉台中学校希望)

これまでの2年間にわたる金杉台中学校統廃合問題の一連の教育委員会のやり方、教育委員会会議のありかた、また教育長の態度について不信感しか残っていない。船橋市教育委員会は何か重大な問題が起きたときに、児童・生徒・教職員の人権や命を守ることはできないと確信した。

金杉台中学校の統廃合は、まだ市議会の本会議で決議されていない。すなわち、まだ「決定事項」ではない。2020年3月5日の教育委員会会議、それも臨時会において方針が決定されたというだけのことである。しかも、その教育委員会会議は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市議会や教育委員会会議の傍聴を自粛することが求められている期間に行われている。コロナ禍のどさくさに紛れて事を進めてしまおうという意図が丸見えである。まるで火事場泥棒のようである。(※次ページへ続く)

(※前ページから続く) 教育委員会会議で金杉台中学校の廃校方針が決まったということは、当事者である児童、生徒、保護者に説明される前に、「決定事項」として千葉日報に報じられた。教育委員会の対応は極めて恣意的で結論ありきの方法と言わざるを得ない。教育委員会が、児童や保護者の存在や、2年間に行われた保護者説明会や住民説明会で行われた議論をまるで無視している(そもそも、保護者や住民の意見など聞いて取り入れる気などなかったことは明らかである。

地域説明会では、金杉台小学校の児童有志からの直筆の意見書が教育委員会に提出された。しかし、教育長をはじめ教育委員会の職員は児童に対して直接説明することも文書で回答することもしなかった。一番の当事者である児童に対して、この問題について、松本教育長が自ら説明してほしいという教育委員会会議への陳情も、教育委員会会議メンバーは全員一致で不採択とした。教育委員会や教育長は当事者である子供たちに向き合うことから逃げ続けてきた。その理由は、「子供たちに余計な不安を与えたくないから」というのが保護者説明会での教育委員会職員の答弁である。子供たちはきちんと説明されれば自らの問題を考え、判断することもできる。どこまで子供たちをばかにしているのかとあきれ果てるばかりである。

わが子は基礎疾患があるため、なるべく感染リスクの小さな環境で学ばせたいと考えている。1学級の人数が多く、学級数の大きな御滝中学校よりも、1学級の人数が少ない金杉台中学校のほうがより感染リスクは小さいであろう。たとえ1年間であっても、2年間であっても、金杉台中学校で学ばせたい。むしろ、新型コロナ感染流行が落ち着くまでの間、金杉台中学校の統廃合問題を先延ばしにするべきだと考える。これは、命の問題である。部活動数の問題でも、切磋琢磨の問題でもない。命を守るという問題である。三密を避けなければならない状況で、大規模校でどのように感染リスクを減らすのだろうか?金杉台中学校を小規模校として残し、船橋全域から小規模校で学びたい生徒を募るべきである。文科省のガイドラインを守っていればいいという問題ではない。船橋市教育委員会は、基礎疾患を持つ児童、生徒の命を守る覚悟がどれだけあるのだろうか?

今回のアンケートの説明書では、廃校までの2年間は、希望者は金杉台中学校に入学できるという内容で記載されている。しかし、これまでの教育委員会の対応を考えると、ある日突然に、「入学希望者が少数だったので、現在の5年生、6年生は金杉台中学校に入学できません。全員御滝中学校に進学することになります」と180度方針を変えるのではないかと不安でならない。金杉台中学校への入学希望者がたとえ10人に満たない場合でも、現在の方針通り、希望者全員が金杉台中学校に入学できることを切に希望する。(金杉台中学校希望)

コロナ禍の中、人数の多い御滝中学校に進学させるより、少しでも感染リスクの少ない金杉台中学校に進学させたい。とにかく人数が多すぎて御滝中学校は色々な面で不安です。(金杉台中学校希望)

<p>できることなら3年間行かせたかった。本人もそう言ってます。大人の世界の話は本人たちには何も関係ないのにかわいそうですね。(金杉台中学校希望)</p>
<p>御滝中学校の生徒数が多すぎるのでとても不安です。(金杉台中学校希望)</p>
<p>いじめが多いと聞きました。生徒人数が多すぎて見きれないということでしょうか。(御滝中学校希望)</p>
<p>いじめ等の心配。きょうだいがいるため制服の心配。(御滝中学校希望)</p>
<p>うちの子は、友達とコミュニケーションをとることが苦手です。一人でいることの多いタイプです。そのため、途中で転校をすることはできれば避けたいと思っています。(御滝中学校希望)</p>
<p>うちは御滝中学校希望ですが、性格的に少人数が合っていて金杉台中学校に行きたがっていた子を思うと統合もどうなんだろうと思ってしまいます。また人数が多くなることで先生が一人一人子供に目が行き届かなくなるのでは、と思ってしまいます。(御滝中学校希望)</p>
<p>決定したことなので仕方がないのですが、小中連携という形にとっても魅力を感じておりました。少人数ならではの学校生活が中学まで続くのだと安心しておりました。(子供は言語・理解力に若干の遅れがあります。生徒数が少ない現状、先生の目が行き届きとても感謝しております。)御滝中学校は現在でも多人数で金杉台中学校と統合すれば更に増え、不安に感じております。(御滝中学校希望)</p>
<p>仕方なく御滝中学校へ進学させる。本来は金杉台中学校に入学させたかったが、転校させるのはかわいそうなので…。(御滝中学校希望)</p>
<p>受験前の大事な時期に環境が変わり子供の精神状態に影響を及ぼすことが不安。この先コロナにより受験制度等変わっていくことも考えられる。(御滝中学校希望)</p>
<p>修学旅行もあるし受験もあるし不安しかない。(御滝中学校希望)</p>
<p>通学指定校変更申請は、いつ、どこでしたら良いのですか。学校から書類が届くのですか。その所が良くわかりません。(御滝中学校希望)</p>
<p>統合にともない制服が変わるのならば2枚とも、新しいデザインの一緒の制服にすればいいと思う(御滝中学校希望)</p>
<p>統合により、御滝中学校の人数が増えすぎるので心配。高根小学校は人数が少ないので圧倒されそう。(御滝中学校希望)</p>
<p>生徒数が多くて教師の目が行き届かないため、いじめ問題が発生しやすい環境である。(3校以外の中学校希望)</p>
<p>中学生という多感な時期でしかも中学3年生は受験を控えての転校となってしまう、コロナの不安もあり子供たちはとても大変な負担になると思います。親も先生も一丸となってサポートする必要があると思います。(3校以外の中学校希望)</p>

<p>統合が必要なことは受け入れます。今、考えられる内容である表向きの対応がさせているが、当事者である子供たちが置いていかれてる気がしてなりません。中学生という多感な年頃に配慮が欠けていると思います。統合される小学生に市や学校から説明はないのでしょうか。学校に通うのは子供であって親ではありません。金杉台中学校から御滝中学校に転校するメリット、デメリット。きょうだいで違う中学校になってしまうことなど…子供のことを考えてあげてください。(3校以外の中学校希望)</p>
<p>今までのアンケートで同じ意見を申し上げているが、聞く耳もたない教育委員会。検討するというが、してもないだろうし。子供のためと言えば聞こえはいいが、けっして子供のためにはなっていない。さびしいかぎり。(進学先未定・検討中)</p>
<p>途中から統合となったとき、御滝中学校の子たちとうまく友達関係を築けるのかどうか不安。小規模は小規模で良さがあつたと思うので、あまりに環境が極端に変わるので本当に大丈夫なのか心配(進学先未定・検討中)</p>
<p>本人は金杉台中学校に進学したいと言っているが、何人金杉台中学校に入学するのか不安。一人だったとしても入学することになるのか。(進学先未定・検討中)</p>
<p>3年生からの転校で学業、行事を行う気持ちを考えたことがありますか。統合するのであれば、制服、学用品等について『希望する生徒』ではなく、令和3年4月までに御滝中学校の制服を着用できるように準備を進めてください。クラス替えについても、現時点、御滝中学校は2年進級時にのみ行っているようなので、3年進級時にもクラス替えを行うことを強く願います。金杉台中学校の在校生の心のケアが必要だと思う。大人へのアンケートだけではなく子供に向けたアンケートをなぜ行わなかったのか。子供主体に考えて行動すべきだと思います。(その他の中学校希望)</p>
<p>今の中学生1年、2年がとてもかわいそうです。これから入学を考える小学校5年、6年は選ぶ権利があるが、在校生は犠牲になっているとしか思えない。(その他の中学校希望)</p>

金杉台中学校の指定学区又は選択地域にお住まいの
小学校5・6年生の保護者の皆様へ

『進学先に関するアンケート』

保護者の皆様には、日頃より船橋市の教育行政に対しご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

船橋市教育委員会では、令和2年3月5日の教育委員会会議臨時会において船橋市立金杉台中学校の統合方針を議決し、金杉台中学校は令和5年4月に御滝中学校に統合することを決定しました。

それまでの間に入学する生徒の移行方法等については、「金杉台中学校・御滝中学校統合準備会」で整理し、令和2年の秋までに決定することとしています。

7月8日に第1回統合準備会を開催し、次ページの『統合までの間の入学等対応策案』をまとめました。（詳しくは統合準備会たより第1号をご覧ください。）

お忙しいところ恐縮ですが、令和3年度、令和4年度に金杉台中学校への入学をご検討いただく皆様に、この案についてご意見をいただきたく、アンケートにご協力くださいますようどうぞよろしくお願いいたします。

アンケートの結果を踏まえ、今後、秋までに『統合までの間の入学等対応策』を決定し、お知らせします。

令和2年7月 船橋市教育委員会

～回答にあたってのお願い・注意事項など～

- (1) アンケートは無記名です。お名前のご記入は必要ありません。
- (2) 回答は、保護者の方が、ご記入ください。記入にあたって、お子様と相談いただいても構いません。兄弟姉妹が5・6年生に在籍する場合、1人1枚です。
- (3) このアンケートをもって、実際に進学することとなる中学校が決定されることはありませんので、現在のお考えをお聞かせください。
- (4) 集計結果は統計的に整理し公表します。また、記述欄の記述については、個人情報やデリケートな内容、調査目的に直接関係のないと判断される内容を除き、一定程度類型化した形で公表いたしますのでご了承ください。
- (5) 回答を記入した質問・回答用紙のみを提出用封筒に封入し、7月30日(木)までに学級担任（学校）へ提出をお願いします。

◎ご不明な点、ご質問は、お手数ですが、下記までお問合せください。

<本アンケートに関するお問合せ>

船橋市教育委員会 管理部教育総務課 企画係 担当 吉村・高木
電話：047-436-2802 ※土日祝日を除く9時から17時まで
メール：kyosomu@city.funabashi.lg.jp

1 統合までの間(令和3、4年)に入学する中学校について

令和3年4月、令和4年4月に入学する児童のうち、金杉台中学校の指定学区*に居住している児童については、金杉台中学校に入学し、令和5年4月の統合時に御滝中学校に転校していただくことを原則とする。

ただし、以下の①～③に該当する場合、通学指定校変更を申請することにより御滝中学校に指定校変更することができる。

- ① 入学時に御滝中学校2、3年生に兄・姉が在籍している
- ② 金杉台中学校に希望する部活動がない
- ③ 統合時に転校することを望まない

※船橋市立学校の通学指定校変更の取扱いに関する基準 別表1.(3)に該当

金杉台中学校を選択できる選択地域*に居住し、金杉台中学校を希望する児童は、金杉台中学校に入学し、令和5年4月の統合時に御滝中学校に転校していただくことを原則とする。

※指定学区・選択地域については、4ページでご確認ください。

2 統合までの間(令和3、4年)に入学する児童の制服・学用品等について

令和3年4月、令和4年4月に入学する児童のうち、金杉台中学校に入学する児童については、金杉台中学校の制服、御滝中学校の制服、どちらを着用してもよいものとする。

また、令和5年4月の統合後も、卒業まで金杉台中学校の制服を着用できるものとし、また、希望する生徒には制服バンクやリサイクルを利用して御滝中学校の制服も着用できるよう、今後、準備を進める。

なお、制服以外の学用品等についても、保護者に転校による金銭的負担が生じないように令和3年4月以降、両学校間で調整する。

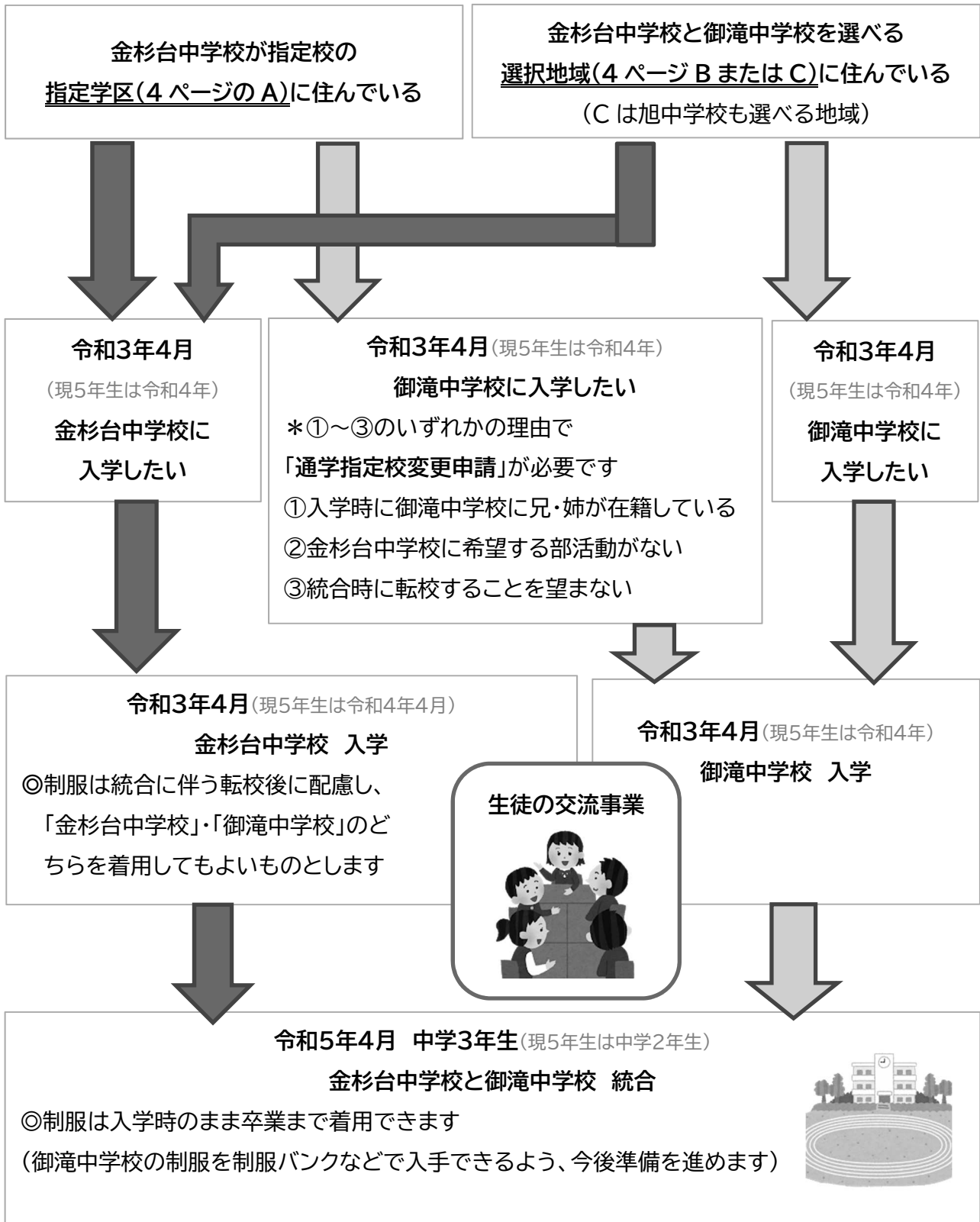
3 統合に向けた生徒の交流について

統合に向けて、両校の教育課程や学校行事等を調整し、生徒たちの交流事業を計画する。また両校で類似する部活動がある場合は、合同練習などの交流を行うことを検討する。

※次ページの「フローチャート」も併せてご覧ください。

【統合までの間の入学等対応策案 フローチャート】

※4 ページの【住所一覧表】から指定学区・選択地域をご確認ください。



【金杉台中学校の通学区域に係る住所一覧表】

- A 指定学区：金杉台中学校
 B 選択地域：御滝中学校・金杉台中学校
 C 選択地域：旭中学校・御滝中学校・金杉台
 (3校) 中学校

住所		区域	
金杉1丁目	全域	B 選択地域	
金杉2丁目	全域	B 選択地域	
金杉3丁目	全域	B 選択地域	
金杉4丁目	全域	A 指定学区	
金杉5丁目	全域	B 選択地域	
金杉6丁目	全域	B 選択地域	
金杉7丁目	全域	B 選択地域	
金杉8丁目	1～18番	B 選択地域	
	24番、25番		
金杉9丁目	全域	B 選択地域	
金杉町全域（下記を除く）		B 選択地域	
金杉町890番地1、890番地5～890番地70		C 選択地域（3校）	
金杉町グリーンハイツ（1191番地9）		A 指定学区	
金杉台1丁目	全域	A 指定学区	
金杉台2丁目	全域	A 指定学区	
二和西1丁目	1番、2番	B 選択地域	
	3番	1号	B 選択地域
		2号～15号	A 指定学区
	4番、5番	B 選択地域	
	6番～9番	A 指定学区	
	10番	B 選択地域	
二和西2丁目	全域	B 選択地域	
二和西3丁目	全域	B 選択地域	
二和西4丁目	1番～9番	B 選択地域	
二和西5丁目	1番～15番	B 選択地域	
二和西6丁目	1番～6番	B 選択地域	
馬込町1173番地1、1173番地3～1173番地40		C 選択地域（3校）	

～ご案内～

◎統合方針の決定までの経過は市ホームページにまとめています。

「金杉台中学校に関する学校規模・学校配置の適正化の検討状況」⇒⇒⇒

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p065270.html>

◎ご不明な点、ご質問やご意見などは、表面のお問合せ先までお寄せください。



<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p065270.html>

『進学先に関するアンケート』

Q 1. お子様の現在の在籍校、学年、性別について該当するものに○を付けてください。

現在の 在籍校	金杉台小学校	高根小学校	金杉小学校
	三咲小学校	二和小学校	法典東小学校
学年	5年生		6年生
性別	男		女

Q 2. ご案内 2 ページの「統合までの間の入学等対応策案」のそれぞれの項目について、
 どうお考えですか。お考えに当てはまるもの又は近いものの該当する番号に○を二
つだけつけてください。また、良くないと思う理由等を記入してください。

	1 良いと思う	2 どちらかとい うと 良いと 思う	3 どちらかとい うと 良くな いと思う	4 良くないと思 う
1 入学する中学校に ついて	1	2	3	4
2 制服・学用品等に ついて	1	2	3	4
3 統合に向けた生徒 の交流について	1	2	3	4



良くないと思う、どちらかという良くないと思う理由

⇒中面をお開きください。設問が続きます。

Q3. 別紙「ご案内」4ページの【住所一覧表】をご覧ください、お住いの住所の区域（A～C）の該当するものに○をつけてください

区域	A 指定学区	B 選択地域	C 選択地域（3校）
次の設問	↓ Q4にお進みください	↓ Q5にお進みください	↓ Q5にお進みください

↓

Q4. 『A 指定学区』に該当する方にお聞きします。

進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	金杉台中学校に進学したい（令和5年4月の統合時に御滝中学校に転校）
2	御滝中学校に進学したい（通学指定校変更を申請する）
3	金杉台中学校・御滝中学校以外の中学校へ進学したい （市内の中学校や私立中学校など）
4	わからない、検討中、これから考える
5	その他 []

⇒Q6. へお進みください

Q5. 『B 選択地域』または『C 選択地域（3校）』に該当する方にお聞きします。

進学する中学校について、現時点でどうお考えですか。該当する番号に○を一つだけ付けてください。

1	金杉台中学校に進学したい（令和5年4月の統合時に御滝中に転校）
2	御滝中学校に進学したい
3	旭中学校に進学したい ※『C 選択地域（3校）』の方のみ
4	金杉台中学校・御滝中学校・旭中学校以外の中学校へ進学したい （市内の中学校や私立中学校など）
5	わからない、検討中、これから考える
6	その他 []

⇒Q6. へお進みください

統合までの間の入学等対応策

1 統合までの間(令和3、4年)に入学する中学校について

令和3年4月、令和4年4月に入学する児童のうち、金杉台中学校の指定学区に居住している児童については、金杉台中学校に入学し、令和5年4月の統合時に御滝中学校に転校していただくことを原則とする。

ただし、以下の①、②に該当する場合、通学指定校変更を申請することにより御滝中学校に指定校変更することができる。

- ① 入学時に御滝中学校2、3年生に兄・姉が在籍している
- ② 統合時に転校することを望まない

※「金杉台中学校に希望する部活動がない」の理由は

「② 統合時に転校することを望まない」の理由に含むこととします。

金杉台中学校を選択できる選択地域に居住し、金杉台中学校を希望する児童は、金杉台中学校に入学し、令和5年4月の統合時に御滝中学校に転校していただくことを原則とする。

2 統合までの間(令和3、4年)に入学する児童の制服・学用品等について

令和3年4月、令和4年4月に入学する児童のうち、金杉台中学校に入学する児童については、金杉台中学校の制服、御滝中学校の制服、どちらを着用してもよいものとする。

また、令和5年4月の統合後も、卒業まで金杉台中学校の制服を着用できるものとし、また、希望する生徒には制服バンクやリサイクルを利用して御滝中学校の制服も着用できるよう、今後、準備を進める。

なお、制服以外の学用品等についても、保護者に転校による金銭的負担が生じないように両校で調整する。

3 統合に向けた生徒の交流について

統合に向けて、両校の教育課程や学校行事等を調整し、生徒たちの交流事業を計画する。また両校で類似する部活動がある場合は、合同練習などの交流を行うことを検討する。

統合までの間の入学等対応策 フローチャート

